

独立行政法人 日本芸術文化振興会 第7回 契約監視委員会 議事要旨	
開催年月日	平成24年7月31日(火) 10:30～ 第1会議室
委員名簿 (敬称略)	池田 温(武蔵野音楽大学教授) 伊田 若江(弁護士) 笹川 隆司(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長 徳丸 吉彦(聖徳大学教授) 小林 伸行(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長代理
議事次第	1.一者応札・応募事案フォローアップ(平成23年度分)について(報告) 2.平成23年度契約に関する点検・見直しについて(審議事項) 3.その他
審議点検対象	平成23年度 契約(年間契約を除く契約金額100万円以上)全件
サンプル契約① 及び 審議結果	【競争性のある随意契約】 ・「平成23年度 文化デジタルライブラリー舞台芸術教材「歌舞伎編 黙阿弥」の制作」・「平成23年度 文化デジタルライブラリー舞台芸術教材「文楽編 作品解説 二」の制作」 入札の公平性及び透明性の確保の観点から、契約準備段階での協力業者の選定方法、同一業者との契約が複数年続くことも想定した参加条件等の再検討が必要との指摘がなされた。
サンプル契約② 及び 審議結果	【競争性のない随意契約】 ・「平成23年度 財務会計システムのWindows7・Internet Explorer対応についての改修」 随意契約が増えることは望ましくないが、コンピューター制御システムに関連する契約については、機器やソフトの特性についても予め詳細な確認をし、適切な契約方法等を決めることが重要であり、契約後のトラブルを未然に防ぐ努力が必要である旨の指摘があった。
サンプル契約③ 及び 審議結果	【競争性のある随意契約】 ・「国立能楽堂動力幹線設備等更新(その3)工事」 同一日における同種工事案件を別個に発注すべき理由、予定価格の積算方法、今後の工事予定等について説明があり、了承された。
サンプル契約④ 及び 審議結果	【一般競争契約】 政府調達・総合評価落札方式 ・「平成24～29年度文化デジタルライブラリーシステム1式の賃貸借(平成24年6月から60ヶ月間)」 ・IT関連契約における低落札率の理由、予定価格の積算、総合評価内容等について、担当課から説明があり、了承された。
サンプル契約⑤ 及び 審議結果	【一般競争契約】 ・「国立劇場屋外便所等新営工事」 振興会の建設工事における入札参加業者数とその傾向、予定価格の積算方法について説明があり、了承された。
総括	(1) 審議方法概要と結果 平成22年度の年間契約を除く全件を対象に、委員の選択により競争性の無い随意契約と一般競争契約の内から、それぞれ類似性・共通性の高い案件がサンプルとして抽出され、契約関係書類一式の事前点検と委員会において契約原課職員による説明を受け、点検・審議を行った。 (2) 検討事項・提案事項 コンピューター制御システムに関連する改修、保守、修繕等の契約に際しては、他社にない独自のシステム構築や機器製造を行うメーカー等との随意契約によらざるを得ない場合が多い。システム関連の契約に際しては、振興会の求める仕様内容と共に機器等の特性についても予め詳細な確認を行い、合理的で適切な契約方法の選択が必要である。 また、予定価格については、積算資料や参考見積等を基にその他の要素を勘案し作成、また参考見積の協力業者が応札する場合なども考慮し、公平性及び透明性が損なわれることのないよう十分な配慮が必要である。